

2020年 第33回全日本420級選手権大会
兼 全日本女子420級選手権大会
第6回全日本 U17 420級選手権大会
2021年 420級世界選手権、ヨーロッパ選手権大会 選考対象大会



Race Committee から選手支援者へのメッセージ

このドキュメントは、新型コロナウイルス感染防止、三密防止対策として、大会プリーフィングを短時間とするために事前展開するものです。同じ理由で、レース公示、帆走指示書、大会を管理する文書への質問は、大会webサイトで入手することが出来る書式を用いた事前送付を推奨します。事前送付された質問に対する回答は、大会webサイトに掲示されます。

■ レース運営方針

以下はいかなる規則も変更していません。またこのとおりとならなくても、艇からのプロテストの根拠とはなりません。

▶ 基本的な考え方

『安全』を最優先とした『公正』『公平』で、『選手に判り易い』高品質なレース

『安全』 …………… 天候変化への先手管理
レース委員会、プロテスト委員会、支援艇全体での安全確保

『公正』 …………… 規則はもとより、World Sailing Standard に準拠した運営
➢ Race Management Manual, Race Management Policies

『公平』 …………… ターゲット・タイムに対応した十分な長さのレグ設定で、計画9レースの完全実施を目標

『選手に判り易い』 …… デイリー・プリーフィングを通じた、選手・監督とコミティとの意疎通促進
三密防止対策として、大会webサイトに各ドキュメントを展開

これらは、レース委員会の行動だけで達成できるものではありません。 選手・監督、全ての支援者のご協力をお願いいたします。

▶ 安全：レース実施の風速基準

4Knt – 25Knt (World Sailing Race Management Policies)

【艇が出艇前】

海上風速が上記範囲外の場合、「D旗」は掲揚しない。

【レース中】

風速がレース海面全体で一定時間4Kntを下回った場合、規則32.1(d)に基づき、レースを中止する場合がある。
レース海面全体で一定時間25Kntを上回った場合、規則32.1(d)に基づき、レース艇全体の安全と公平を考慮してレースの継続有無を判断する。
レースの中止・続行は、フリート全体の艇速とレースの公平を考慮して決定する。

▶ 安全：レスキュー体制

レスキュー2艇(Rib)は常時レスキュー対応にあたり、海面状況に応じてレース委員会艇 6 艇、プロテスト委員会艇 2 艇、支援艇15艇全体で安全を確保します。
ハーバーに自力で帆走できない艇の曳航、及び怪我をした人員の陸上への移送は原則レスキュー艇で行います。
レース海面全体で一定時間17Knt上回った場合、(規則42がoffされる状況が明らかに継続すると判断した場合)、レース委員会艇での「緑色旗」掲揚と、信号艇からの通信指示により、指示23.6に基づき、支援艇に安全確保のための活動に協力いただきます。
支援艇の行動は、別途展開の『支援艇ガイド』に準拠下さい。

▶ 安全：海上での救助の合図

指示18.4に基づき、救助を必要とする選手は、片手を振って、その意思を伝えてください。
運営艇または支援艇からの救助に対する問いかけがあった場合は、下記の方法で返答をしてください。



OK !

水上で救助が不要の場合、
手のひらを握って近くのレスキュー艇、
または運営艇に合図して下さい。



Help !

水上で救助が必要な場合、
手のひらを広げて近くのレスキュー艇、
または運営艇に合図して下さい。